

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	市民活動見本市プロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 「未来につながる元気な目を育てる」「区内各地をつなぐ仕掛け・仕組みをつくる」「区内の一体感を創出する」をテーマに地域の現状・将来像(夢)を、大人と子どもが一緒になって、学び・考える場を設け、取り組むことで、次世代の担い手育成や、区づくりへの気運を高めることを目的とする。</p> <p>【概要】 このプロジェクトでは、「地域の声を吸い上げ・届ける」ことを目標とする。各地域の市民活動を紹介することで、対外的に広く周知するだけでなく、他地区の活動について知り、自分たちの地区の活動に還元することも目指す。具体的な方法として、地区ごとに市民活動を紹介するパネルを作成、作成したパネルは、イベントや人の集まる場所に掲出。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>この事業実施に向けたプロジェクト会議を設置。 1地区あたりB1(728mm×1030mm)1枚の紹介パネルとリーフレットを作成 事業の説明パネルは、タイトルや見出し等最低限の体裁は整え、区自治協議会委員が収集する原稿をベースに作成。 各地区で紹介した活動 両川地区:「舟くだり」 早通小学校地区:「賽の神」 横越地区:「床がため公園チューリップまつり」 曾野木地区:「七味の会」(ボランティア活動) 亀田小地区:「ふれあいの駅 よりなせ家」 大江山地区:「大江山縄文市」 亀田東小地区:「袋津まち歩き」 亀田西小地区:「いきいきサロン」(ころころ53区) 紹介パネルの設置 江南区“旬果旬菜”いきいきフェスタ会場(10月28日(日))、亀田駅、公民館等 設置に合わせてアンケートを実施</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>事業の狙いとしたところは、当初の提案時点では、「やりたい、困っているという住民の声や区内の活動を区民に紹介する場を設ける」であったが、それがプロジェクト検討初段階から産業見本市というイメージとなり、それを払拭できなかった。 市民活動PRの訴求対象は、一般の人よりも問題意識を持っている人、受益を必要とする人であるので、単にお祭りの人が集まる場所での展示ということではなく、そういう人たちへのPR方法も考えていかなければならないと思う。 事業内容によっては、当初提案時点でもっと内容を掘り下げておく必要があり、プロジェクトでの検討においても、当初から効果・成果を想定した上で費用対効果という観点からの検討をすべきであると思う。 検討当初において、狙いや目的に対するメンバー全員の意思統一をキチンとしておくべきであった。 年間展示計画をたて、期間中修正しながら、効果的なPR機会を確保することが先決である。効果的なPR機会とは、作成の狙いに合致するイベント等の活用であり、さらに、「やりたい、困っているという住民の声や区内の活動を区民に紹介する場を設ける」という狙いの具体的実現方策をきちんと論議し、その方策に向けてプロジェクトの力を結集していく必要がある。 その一つの方策として、ポスターセッションの併用などの活動の中で、成果を把握していくこととし、この事業については、フォロー活動のみとすべき。</p>
備考	